



TAIHEIYO CEMENT NEWS LETTER

2019年6月24日

「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言に賛同

太平洋セメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：不死原正文 以下、当社）は、「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）*」の提言に賛同しました。

当社および当社グループは、気候変動の課題を最重要課題の一つであると捉え、CSR目標2025でセメント製造にかかわるCO2排出削減目標を掲げ、資源循環型社会構築への貢献、更なる省エネルギーの推進、革新的セメント製造技術等、地球環境負荷低減へ向けた研究開発も推進し、気候変動の緩和と適応への取組みを進めています。

今後はTCFDの提言に基づき、気候変動が当社グループに与える事業リスクと事業機会について評価、分析を進め、事業戦略への反映と情報開示を進めていきます。

また、2050年を展望した温室効果ガス排出削減に係る長期ビジョンを策定中であり、今後情報の開示を予定しております。

当社は、今後とも経営理念である「持続可能な地球の未来を拓く先導役をめざし、経済の発展のみならず、環境への配慮、社会への貢献とも調和した事業活動」を行なってまいります。

*「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」: Task Force on Climate-related Financial Disclosures の略で、気候関連財務情報の開示を促進するため、金融安定理事会(FSB)によって2015年に設立。2017年には投資家の適切な投資判断のために、気候関連のリスクと機会がもたらす財務的影響に関する情報開示を促す提言を公表。

<本件に関する問合せ先>

太平洋セメント株式会社 総務部 I R 広報グループ
TEL. 03-5531-7334 FAX. 03-5531-7551